

2012年度しょうえい幼稚園 教育活動等に対する学校評価書 学校法人沼津頌栄学園しょうえい幼稚園

評価者 園長 石川 望・教職員7名

1 経営理念

経営理念	キリスト教保育 自由保育(統合保育)	あそび・あそぶ・あそぼうから創造(自由)保育へ —みんなの違う輝きが一つとなる瞬間を—
------	-----------------------	--

2 経営目標・評価項目・評価

☆評価基準 十分 ◎ 概ね十分 ○ やや不十分 △ 不十分 ×

	経営目標	評価項目	評価基準				達成状況・改善策等	学校評価委員の意見	
			◎	○	△	×			
つながる基礎	1、園生活の基本を身につける。 2、目に見えない大切なものを生活を通して感じる。 3、絵本などを通してファンタジーの世界を広げる。	教師は礼拝・お祈りを楽しい中にも静かに行い、園児たちの心を落ち着かせる。	3	5			・お誕生会の入場時、入場前に一声かけ心を静かにできるようにする。 ・年少では讃美歌の時も普通のうたと同じように踊ってしまう。	◎	一声かけて静かにするよう導入を研究してほしい
		自由遊び後、園児はスムーズに片づけに入る。		6	2		・まだ声掛けが必要なので区切りをつけて声掛けしている ・放送から片付けまで時間がかかってしまう、放送する前に片付けの声掛けをするなど試してみた	○	引き続き声掛けをして片付けするよう指導して下さい
		園児たちの園生活のきまりが身につくように援助する。		8			・遊びとのめりはりをつける。 ・日常生活の中で生活習慣を身につけられるよう教師も工夫してゆく。	◎	概ね評価できる
		園児たちの親もとから離れるさびしさやケンカした時の悲しさを教師は理解する。	2	6			・もっと子どもたちの寂しさ、悲しさをしっかり受け止めて寄り添えるような言葉がけをしてゆきたい。	◎	引き続きお願いしたい
		教師は園での絵本の読み聞かせをする。(毎日)	8				・新しい本をどんどん見つけ園で購入してもらい、子どもたちに読んでゆきたい。	◎	大変評価できる
		園は絵本の貸出しを通して園児たちがたくさんの絵本と出会う。	7	1			・週に1度の貸し出しで絵本との出会いの機会行っている	◎	大変評価できる
ゆたかな心	1、命の大切さ・平和への思いを育てる。 2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。	教師はお集まりやクラス活動に積極的に参加する。	4	4			・今後、より子どもたちからの発想を引き出し受け止め準備してゆく。	◎	概ね評価できる
		教師は遊びや生活の中で友だち同士ふれあいを深めるように支援する。	2	6			・保育テーマに沿った取り組みをしている	◎	今後も引き続き努力を
		園児たちが動植物の誕生・成長・死を通して命の大切さを感じる。	2	6			・たくさんの虫をお部屋でお話し、毎日見て成長などを感じることができたと思う。 ・あひる、ちゃぼ、うさぎさんに卵の殻や野菜をよく持ってきてくれるので触れ合うきっかけとなっている	◎	評価できる
		絵本などを通して園児たちの平和への思いを強める。		7	1		・お互いに共感しあえる本をこれからも時期に応じ読み聞かせをしてゆきたい	○	やや不十分
		教師は「統合保育研究会」(園内・学期毎)を行い、発達課題のある子を援助する。	3	5			・保護者・医師・教師で協力しあいながら援助を深めてゆく。	◎	評価できる
		園児が自分の意見や考えを積極的に表明し、同時に相手の意見を聞く力を育てる。	1	6	1		・クラス活動で自分の考えを出せるお友だちもいるが、話を聞く際は意識を向けさせる必要がある	◎	評価にばらつきがあるのでお互いに評価が上がるよう努めてほしい
信頼される幼稚園	1、保護者との意見交換を積極的に行う。 2、情報発信を充実させる。 3、子ども・保護者・教師共に育ち合う関係を作る。	園は園だより・しょうえいカレンダーを月1回発行する。	8				・今後マンネリ化しないように工夫してゆきたい。	◎	本の紹介等内容の発展を
		園は学期に1回保育参観を行う。	5	3			・参観の内容を更に工夫してゆきたい。	◎	保護者の意見を取り入れては
		保護者への講演会を年1回行う。	4	4			・今後も有意義な講演会を行ってゆく。	◎	広く参加を促す工夫を
		園はホームページで広く幼稚園を公開する。	4	3	1		・ツイッター・face book など情報発信をより広げてゆく。	◎	各教師が責任をもってやっていくよう指導してほしい
		保護者と教師とのコミュニケーションを深める。	1	7			・お迎えに来た保護者とはその日の様子を伝えるようにしている	◎	引き続きお願いしたい
		園の行事を無理なく円滑に行う。	2	6			・単に行事を消化するのではなく日々の遊びの中から生まれたものを行事へとつなげてゆきたい。	◎	概ね評価できる
		未就園児の会「しょうえいであそぼうよ」を年10回程度行う。	4	4			・前日に園児たちに未就園児が遊びに来ることを伝えウエルカムな雰囲気をつくってゆく。	◎	独立したイベントではなく、他の先生との関わりを設けてほしい
		日常の教師間の連絡体制	2	6			・お休みの子や気になる子への共通理解をより深めてゆきたい。	◎	概ね評価できる